放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月28日　　事業所名：放課後等デイサービスファーストペンギンスタジアム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		活動毎・チームごとに部屋を分けて分散して活動しています	
	2	職員の配置数は適切である	100%		活動毎に職員を配置し、別途全体を把握している(いつでも動ける)職員が常在しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%		段差があるため完全なバリアフリーではないが、バリアフリー化を必要とする身体に障害のある児童は現状受け入れておりません
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	88%	13%	・朝礼、終礼で本日の目標、活動報告、振り返りをしています ・職員間で共有しやすいように、文書を綴じたり連絡ツールを使っています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		・保護者の方の意見を参考に改善しています ・支援計画作成前に毎回保護者アンケートをとっています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		HPにて公表しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		・講師を迎え職員の研修会を行っています ・研修はもとより、気づいたこと、疑問などがあればすぐに伝え解決できる環境を作っています ・定期に職員全員に対しての勉強会を実施しています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		保護者アンケートを行い、ニーズや課題を把握したうえで支援計画を立てています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	88%	13%	オリジナルのアセスメントを使用しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		職員で案を出し合い、やりたい企画はどんどん実行できるようにしています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		毎週変化のあるプログラムを行えるよう、様々な活動を準備しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		・休日は課外活動をメインで行っています ・長期休暇中は平日できない社会見学や課外活動を取り入れています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%		・状況に応じて日々個別・小集団・集団の組み合わせで計画をしいます ・例えば、同じ調理実習をする時でも、一対一で、集団で、また室内だけではなく、外でもできることをと、環境も工夫しながら、子どもたちの興味をひく活動になるように工夫しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		・開始前には打ち合わせをし、内容を事務所に掲示し見える化しています ・活動開始前に、分担、活動内容を、細かく打ち合わせをするので、安心して支援開始ができています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	88%	13%	・終礼では、支援の振り返りをし次回の計画を話し合います ・打ち合わせに参加できない職員もいるので、連絡ツールも活用し、共有できるようにしています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		キッズノートにて個々の活動を記録し、リタリコにて日報をつけています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		保護者の方に定期的にモニタリングをして計画を立てています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%		ガイドラインの5つの項目について活動を組み合わせて計画をしています	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		担当職員と児童発達管理責任者で参画しています	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%		必要に応じて連絡を取り合っています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	対象外			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%		必要に応じて連絡を取り合っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	対象外			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%	支援センター主催の研修を定期的に受講しているほか、専門の講師を招いて勉強会や助言を受けています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75%	25%	公園でキックベースなど一緒に活動する機会があります	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	50%	50%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時、LINE、アプリを通して日々の様子を伝え、情報交換をしています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	75%	25%	保護者向けの勉強会を開催しています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		契約時に説明しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・いつでも悩みを相談できる窓口（トーク＆スマイル）を作っています ・相談時には必要な助言を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	63%	38%	親子参加型の活動を開催し保護者同士の連携のサポートをしています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		毎月の行事予定、毎日と毎月の活動報告をキッズノートや公式LINE・HPにて情報を発信しています	
	35	個人情報に十分注意している	100%		書類はシュレッダー、個人情報の持ち出し禁止にしています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		キッズノートや公式LINEにて情報伝達をしています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	・近隣の子どもたちが参加できるワークショップを開催しています ・地域のイベント（うらじゃ・西大寺マラソン）に参加しています	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	63%	38%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%	年に一度訓練をしています	定期的な避難訓練を実施し、災害に備えます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		虐待防止の動画にて研修を行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		食物アレルギーのある子にはおやつを持参してもらっています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			